実践記録

学校/学年中学校 / 1年教科等:単元名学級活動: ネット利用のしかたを考えよう			
教科等:単元名 学級活動: ネット利用のしかたを考えよう			
	学級活動: ネット利用のしかたを考えよう		
キーワード ネチケット 情報機器の光と影	ネチケット 情報機器の光と影		
分類 情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築			
モデルカリキュ ラム表における 日標 日標 知識を身につける			
中目標項目番号 (g4-1)情報セキュリティの基礎的な知識を身に 中目標項目内容 つける			
授業会場 パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔)		
学習の目標 何気なく使っているインターネットや情報機器の陰の部分を知り、正しい 利用できるようにする。	何気なく使っているインターネットや情報機器の陰の部分を知り、正しい判断で 利用できるようにする。		
教材名 事例で学ぶ Net モラル (Web 版)			
使用教材			
入手先(URL 等) 長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶNet‐	Eラル」		

展開案

	学習活動	指導 評価
導入	1.映像クリップを見る。	ドリルでの診断画面を使って、トラブル等が 発生したときの自分の対処の仕方について客 観的に見つめさせる。
展開	2.事例集から様々なトラブルの可能性があることを知る。3.実際に送られてきたチェーンメールを読み、自分のところに送られてきたらどう対処したらよいかを考える。	コンテンツを自由に閲覧させ、様々なトラブルの事例を見させ、自分だったらどうするか考えさせる。 チェーンメール受信の疑似体験をさせ、実際にどう対処するかを考えさせる。 勝手に判断せず、親や先生など大人に相談してから行動するようにしようとする。
おわり	4 .今後の情報機器とのつきあい方について、 見通しをもつ。	怖い側面を知った上で便利に使うよう、意識 をもたせる。

授業の成果

・これまで、インターネット上や情報機器利用での危険な側面をあまり意識していない生徒が多かったが、この授業を通して「注意していきたい」という意識をもつようになってきた。

指導のポイント・留意点

・パソコン室のパソコンを使ってチェーンメールの受信を疑似体験させることで、生徒たちはより現実 的な問題としてとらえることができたようである。